

# 地域医療連携室 だより

宮城県立がんセンター  
MIYAGI CANCER CENTER

平成20年3月10日発行



発行 地域医療連携室  
TEL (022)384-3151  
FAX (022)381-1169

## 年度末にあたりまして —この一年のこと—

副院長・地域医療連携室長・医療支援情報室長 小池 加保児



日頃よりご支援をいただきまして誠に有り難うございます。  
年度末となり、最終的総決算・人員の移動・来年度への新規  
契約・目標の策定などにお忙しい毎日のことと思われま

私どもががんセンターにとってこの一年いろいろなことがあ  
りました。昨年春には念願の麻酔科常勤医が2名赴任されま  
した。また今年4月からもさらに増員が予定されております。この結果、手術がスムーズに運  
び、昨年度に比べ手術症例数が増加しました。また、手術待ち時間の短縮についても成果が出  
ております。

今年1月17日から3日間、病院機能評価Ver. 5.0を受審しました。これには昨年暮から、病  
院挙げての準備が必要でした。事務的な書類の整理、マニュアル等の整備、院内ルールの再確  
認等の印刷物の準備を始めとし、医療廃棄物の処理手順、注射針リキャップの問題、院内感染  
対策、医療事故防止など多岐にわたりました。認定されたか否かは3月上旬に連絡がある予定  
です。いくつかの問題事項を指摘され、改善作業を再開しなければならない事態を覚悟してお  
ります。

年度内に相談支援センターをオープンします。これは、これまでバラバラであった患者様へ  
のサービス窓口を統一する組織です。地域医療連携室、セカンドオピニオン窓口、なんでも相  
談室、在宅医療、ソーシャルワーカーなどが1つの部屋に入ります。患者様からの相談は、こ  
の窓口を経由して担当部署に振り分け、お答えすることになります。

現在、お見舞いに来られた方々への入院患者様の病室案内を行っておりません。電話での問  
い合わせはもちろんのこと、総合案内、時間外での守衛室でも行うことを止めました。患者様  
の個人情報保護の立場と、安全に備えた結果です。患者様あるいは家族の方から情報を得た後  
来院されることをお願いしております。

来年度もよろしく御願いたします。

## 診療科紹介

## 外科・総合外科・乳腺科

総合外科診療科長 椎葉 健一

## ■ 当科の概要

当科は昭和42年成人病センター開院時に50床の外科としてスタートし、平成5年5月のがんセンター開設以降は、消化器癌と乳癌を中心に外科診療を行ってきました。平成17年9月には総合外科、平成19年4月には乳腺科を独立させ、現在の外科は3つの診療科即ち外科、総合外科、乳腺科で構成されています。各科の専門領域は外科が胃癌、総合外科が結腸・直腸癌、乳腺科が乳癌です。肝・胆道・膵の悪性腫瘍は原発性癌の手術を主に外科、転移性肝癌の手術を主に総合外科が行っています。現在外科全体の入院病床数は50床で、1年間の外来新患数は約700名、入院患者数は約550名、年間手術件数は約350件です。



## ■ 当科の特徴

胃癌・大腸癌・乳癌の手術件数は県内でトップレベルにあり、各疾患とも治療ガイドラインに沿った標準的治療を行っています。検診発見がんのご紹介が多く、比較的病期の早い症例が多いのですが、高度進行癌も少なくありません。進行癌治療において放射線治療科、化学療法科などの専門科の協力が得られる点は当施設の大きな利点といえます。さらに、JCOGなどの臨床研究に積極的に参加することで、患者様には日本のがん治療のエビデンス作りに貢献して頂くとともに、常に最新の治療法を患者様自身が享受できるように配慮しています。外科病棟のスタッフは栄養支援 (NST)、感染制御 (ICT)、クリティカルパス (CP)、緩和ケアなど多職種が関わるチーム医療活動に積極的に取り組んでおり、医療・看護の質の向上を目指しています。

## ■ スタッフ紹介

平成20年3月現在のスタッフは以下の七名です。

【外科】：藤谷恒明（診療科長・医療部長：外科学会専門医、消化器外科学会専門医、消化器病学会専門医）、山並秀章（主任医長：外科学会認定医、消化器外科学会認定医、ICD（インフェクションコントロールドクター））

【総合外科】：椎葉健一（診療科長・医療部長：外科学会専門医、消化器外科学会専門医、大腸肛門病学会専門医、乳癌学会認定医）酒井謙次（医療部長：外科学会専門医、消化器外科学会認定医）、佐藤正幸（主任医長：外科学会専門医、消化器外科学会専門医）

【乳腺科】：角川陽一郎（診療科長・医療部長：外科学会専門医、消化器外科学会専門医、乳癌学会認定医）、多田寛（主任医長：外科学会専門医、乳癌学会認定医）

## ■ 診療状況

乳腺科の新患日は月、木の午後で受付時間は14時までとなっています。乳腺外来は大変混みますので、各医療機関からのご紹介の際には是非、地域医療連携室を通してご予約ください。外科、総合外科の外来は以下のように交代で行っています。月：椎葉 火：藤谷、酒井 水：山並 金：藤谷、佐藤です。手術日は月・火・木・金となっております。

## ■ 診療実績

平成18年度の手術件数は331件で、乳腺102、食道2、胃91、小腸・大腸92、肝・胆道・膵27、その他17でした。

【胃癌】平成19年は93例の胃癌手術を行いました。当科では幽門側胃切除術の再建にRoux-Y吻合をいち早く取り入れ、良好な結果を得ています。また、スキルス胃癌などの進行胃癌に対する術前化学療法や術前の診断的腹腔鏡検査などの新しい試みを行っています。5年相対生存率は病期Ⅰ：96.4%、病期Ⅱ：68.6%、病期Ⅲ：32.1%、病期Ⅳ：12.2%です。

【大腸癌】平成19年は71例の大腸癌手術を行いました。このうち腹腔鏡補助下の切除術は9例でしたが、今年はかなり増加しそうです。直腸癌では永久人工肛門をできるだけ回避する肛門温存手術を心掛けています。肝転移は積極的に切除する一方で、抗癌剤治療にも力を入れています。局所進行・再発直腸癌は手術・放射線療法を軸に集学的治療を行います。5年相対生存率は病期Ⅰ：96.6%、病期Ⅱ：95.8%、病期Ⅲ：70.4%、病期Ⅳ：8.6%です。

【乳癌】平成19年は119乳房に乳癌手術を施行しました。乳房温存手術85例、乳房切除34例、全体に対する乳房温存率は71%、温存可能症例に対する乳房温存率は98%でした。腫瘍の大きな症例や腋窩リンパ節転移の明らかな症例などに術前化学療法を積極的に行っています。2007年は15例に術前化学療法が行われ、うち2例で手術標本で癌が完全に消滅していました。術後の追加治療も重要で、内分泌療法・化学療法・放射線療法等を放射線科・化学療法科と連携して行っています。

最後になりますが、皆様の平素よりのご指導に対し心から御礼申し上げます。本年4月から麻酔科医師の増員が見込まれており、手術枠が増加すると入院待ちの時間も一段と短縮されますので、是非多くの患者様のご紹介を賜りますよう誌面をお借りしてお願い申し上げます。

## 外来新患診療体制表

平成20年4月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科		●	●	●	●	●
内科	血液内科	●	●	●	●	●
	循環器科	●		●	●	
	化学療法科	●		●		
呼吸器科		●	●	●	●	●
外科	乳腺科	●		●	●	
	外科	●	●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸科(耳鼻いんこう科)		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線科		●			●	
緩和医療科			●	●		●

診療受付時間：午前8時30分～11時00分までをお願いします。

TEL (022)384-3151(代) FAX (022)381-1169

### 相談支援センターからのご案内

平成19年の春に相談支援センター開設し、患者さま・ご家族・医療従事者・その他の多くの皆様方に日々ご利用頂いております。スタッフ一同(看護師・医療ソーシャルワーカー等)皆様のご期待に添えるようさらなる努力をしておるところです。

この度、相談支援センターの設置場所と電話番号が変わりましたのでご案内申し上げます。相談支援センターは正面入り口右側に移動となりました。

電話番号は

022-381-1155 (直通)

022-384-3151 (代表) 内線115 (地域医療連携)、  
内線758 (医療福祉相談)

FAX番号は

022-381-1169 (専用)

相談支援センターは

☆なんでも医療相談(病気に関わる心配や悩み、困りごとや当センターに対する要望等)

☆医療福祉相談(退院後の転居先や在宅療養などの社会的問題、心配ごと・心理的問題等)

☆セカンド・オピニオン(主治医以外の医師の意見を聞くことにより、患者さんご自身が治療方法を自己決定するのに役立てていただくもの)

☆医事相談(医療費の支払い等)

☆緩和ケア相談(体のつらい症状や心のつらさ・苦しさを和らげたい時、緩和ケア外来受診の方法、緩和ケア病棟入棟希望等)

☆地域医療連携室(地域の医療機関の先生方から御紹介を受けた患者様の診療予約(前方支援))

等々のご相談をお受けする最初の窓口となっております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

相談支援センター長 松田 堯  
スタッフ：佐久間文子、森 暁美、菅原 美菜、  
小野 貴史、遠藤 博子



### 交通案内

J 桜交 R 東本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用  
仙南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用  
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用  
仙台南インターからは、国道286号バイパス経由  
県道仙台・岩沼線を利用(所要時間約15分)

#### 相談支援センターのご案内

- 受付時間 (面談) 午前10時から12時  
(電話) 午前8時30分から午後5時15分まで
- 面談場所 がんセンター 相談室(1階)
- 電話 (022) 384-3151 (代)  
(022) 381-1155 (直通)
- FAX (022) 381-1169

**宮城県立がんセンター**  
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1  
電話(代表) (022)384-3151 FAX(総務班) (022)381-1168

□ゴマーの3本の柱は「治療、予防、研究」を、  
上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、  
患者さんを支えるという意味です。